

② 調査結果

ア. 現存植生

(7) 現存植生の概要

現地調査の結果、15 凡例の植生区分、及び 10 の土地利用等が確認された。確認された植生区分等一覧を表 5.2.8.6、植生区分別の面積を図 5.2.8.2、その割合を図 5.2.8.3 に示すとともに、現存植生図を図 5.2.8.4(1)～(2)に示す。また、確認された植生群落の状況について以下に示す。

表 5.2.8.6 植生区分等一覧

区分	凡例		調査範囲					
			合計		実施区域		実施区域の周辺地域	
			面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
植生	草本群落	ヤナギタデ群落	0.04	0.01			0.04	0.01
		コセンダングサ群落	0.34	0.10	0.05	0.07	0.29	0.10
		メヒシバ-エノコログサ群落	2.2	0.62	0.33	0.47	1.87	0.66
		ヨシ群落	0.89	0.25	0.19	0.28	0.70	0.25
		オギ群落	8.5	2.41	0.37	0.53	8.13	2.86
		マコモ群落	0.13	0.04			0.13	0.05
		ミクリ群落	0.45	0.13			0.45	0.16
		ススキ群落	1.34	0.38			1.34	0.47
		休耕田雑草群落	1.7	0.48	1.04	1.51	0.66	0.24
	木本群落	メダケ群落	0.37	0.11			0.37	0.13
		クズ群落	1.35	0.38			1.35	0.47
		エノキ群落	0.15	0.04			0.15	0.05
		竹林(マダケ)	0.16	0.05			0.16	0.06
	人工水路内 植生	湿生草本群落	0.04	0.01			0.04	0.01
		沈水植物群落	0.2	0.06	0.11	0.16	0.09	0.03
土地利用	土地利用	植栽樹種群	1.05	0.30			1.05	0.37
		果樹園	1.63	0.46			1.63	0.57
		畑地	48.94	13.89	10.68	15.52	38.26	13.51
		水田	108.69	30.85	35.92	52.22	72.77	25.79
		人工草地	2.26	0.64			2.26	0.79
		公園・グラウンド	11.17	3.17	0.31	0.45	10.86	3.82
		住宅・構造物	110.64	31.41	12.66	18.40	97.98	34.49
		社寺林・緑の多い住宅地	10.59	3.01	0.62	0.90	9.97	3.50
	道路・新幹線	28.96	8.22	5.63	8.18	23.33	8.23	
開放水面			10.50	2.98	0.89	1.29	9.61	3.38
合計			352.29	100	68.80	100	283.49	100

注) 1.ミクリ群落を構成する種類については、種類の特定までには至っていない。

2.表中の数値は四捨五入しているため、合計値が一致しない場合がある。

調査範囲は、相模川の沖積低地に位置しており、主な土地利用は水田を中心とした農耕地、及び国道 129 号と東海道新幹線沿線に広がる市街地である。このように、調査範囲の環境は何らかの人為的影響を受け、自然植生はほとんどみられない状況にあり、二次的な植生が成立する場所は相模川や笠張川といった河川周辺等に限られる状況にあった。

実施区域及びその周辺地域におけるそれぞれの状況についてみると（図 5.2.8.2 及び図 5.2.8.3 参照）、実施区域は面積の約半分（約 52%）が水田で占められているほか、約 16%が畑耕作地として利用されており、これらの耕作地が面積の約 70%を占めていた。また、住宅地は少ないものの、国道 129 号沿いには工場や店舗等が建ち並び、道路・新幹線といった改変地を含めると約 27%が人工的な環境であり、農耕地と合わせると約 95%が何らかの土地利用の影響を受けた状況となっていた。

このほか、ヨシ群落、オギ群落、休耕田雑草群落といった草本群落はみられるものの、合計で3%に満たない小規模なものとなっていた。

また、実施区域の周辺地域については、住宅地等が最も大きく約35%を占め、次いで水田が約26%、畑地在約14%、道路・新幹線が約8%、公園・グラウンドが約4%であり、これらの土地利用で約85%以上を占めていた。ただし、実施区域の周辺地域には、相模川等の自然性の高い河川環境がみられるほか、小規模ではあるものの社寺林や河川敷樹林等が分布しているのが特徴である。

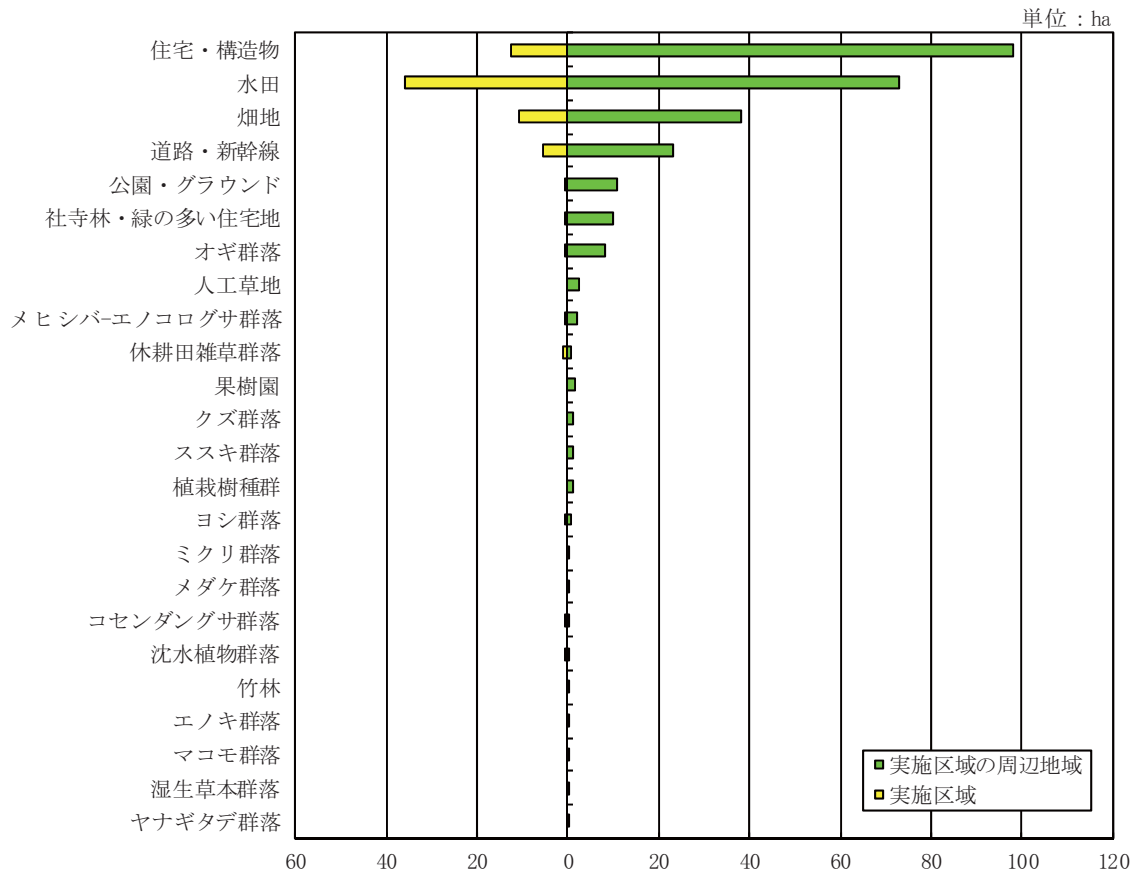


図 5.2.8.2 植生区別における面積

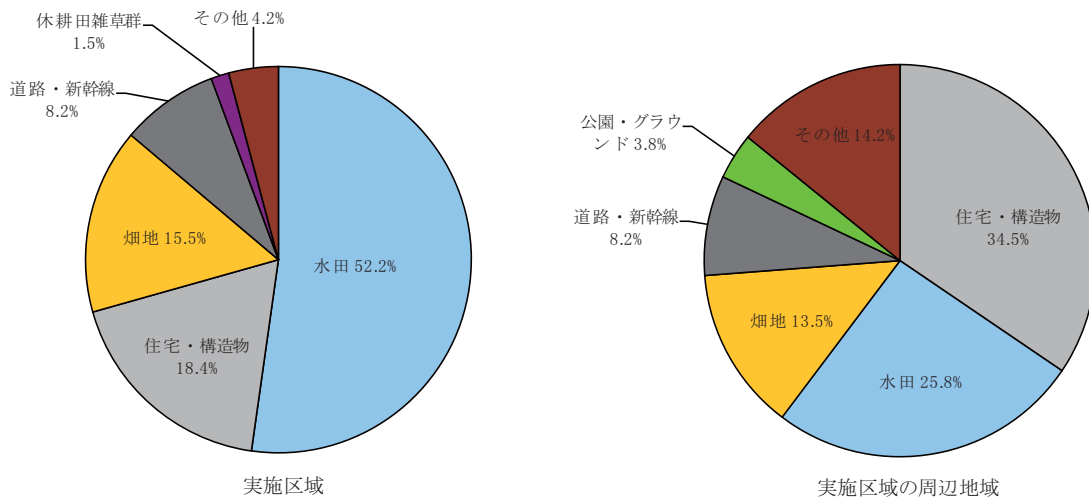
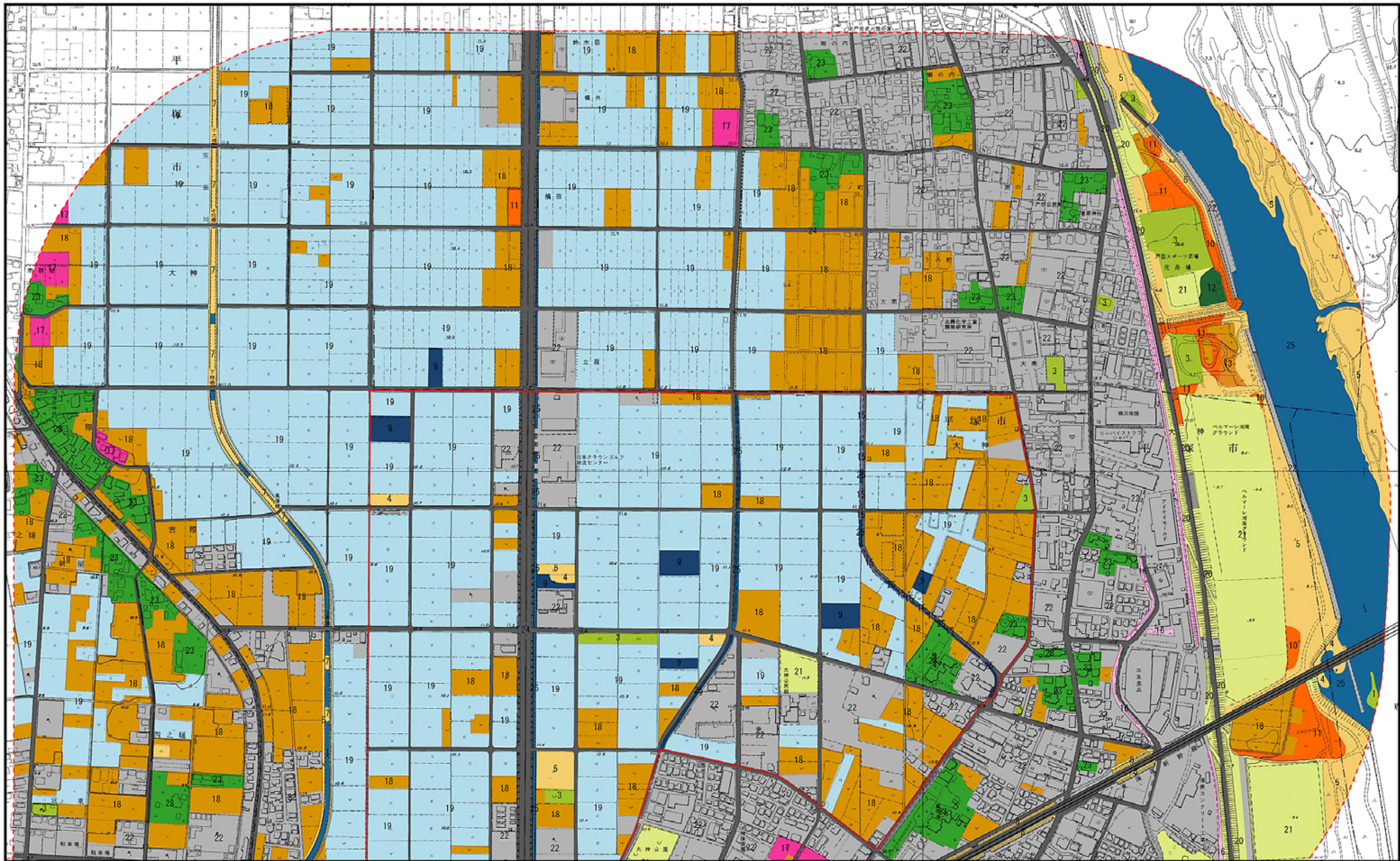


図 5.2.8.3 植生区別における面積割合



凡例

- 実施区域
- 調査範囲

1 ヤナギタデ群落	6 マコモ群落	11 クズ群落	16 植栽樹種群	21 公園・グラウンド
2 コセンダングサ群落	7 ミクリ群落	12 エノキ群落	17 果樹園	22 住宅・構造物
3 メシバエノコログサ群落	8 ススキ群落	13 竹林(マダケ)	18 畑地	23 社寺林・緑の多い住宅地
4 ヨシ群落	9 休耕田雑草群落	14 湿生草本群落	19 水田	24 道路・新幹線
5 オギ群落	10 メダケ群落	15 沈水植物群落	20 人工草地	25 開放水面



Scale=1:5,000

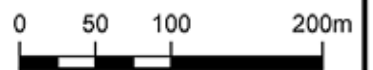


図5.2.8.4(1) 現存植生図